

## 第35回 南木曾町リニア対策協議会 開催

第35回南木曾町リニア対策協議会が6月27日に南木曾会館で開催されました。

まず報告事項として、工事の進捗状況について主に鉄道・運輸機構から説明がありました。

その後、水道水源の予備的措置における国道256号線への水道管敷設工事について、町の建設環境課から説明がありました。

説明資料は町のホームページをご覧ください。



### 報告事項

#### ① 工事進捗状況 (鉄道・運輸機構、JR東海より)

広瀬工区の左岸上流では土砂ピットの仕事が完了し、各種トンネル仮設備の基礎コンクリートの打設工事を行っています。今後は左岸下流と合わせてヤードの舗装工事を予定しています。

尾越工区では転石の小割作業と並行して行っていた蘭川を渡る仮橋の仮設が5月末に完了し、現在は橋の端部での工事を行っています。仮橋工事の完了時期は8月末を予定しています。

山口工区では、瀬戸トンネル事故の影響で工事を停止しておりましたが、5月より再開し、本坑品川方への掘削を行っています。現在、本坑は品川方へ約800m、先進坑は約1400m掘削が完了し、岐阜県と長野県の県境までの距離は本坑が約1600m、先進坑が約1000mとなっています。

#### ② 水道水源予備的措置における水道管敷設工事について (建設環境課より)

上在郷の国道256号沿いにある

旧青木製材所前からホテル大江戸温泉までが今年度の工事区間となります。工事区間(2700m)を4工区に分け、今回は下流側の旧青木製材所から田代沢までの2工区分(850m)を発注します。直径100mmの水道管を左車線部分へ約1・2mの深さで埋設する工事となります(工事期間中は片側交互通行)。



### その他

第31回の対策協議会において委員より提案のあった発生土置き場の現場視察を6月12日に実施しました。協議会委員、南木曾町議会議員および

役場職員など合計32人が参加し、大鹿村では旧荒川荘発生土置き場、総合グラウンド、豊丘村では戸中発生土置き場、本山発生土置き場の計4か所を視察しました。

